

平成31年3月13日

保護者様

夜久野学園
校長 曾根 肇

学校評価について（お知らせ）

早春の候 保護者の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は、学園の教育活動に対しまして、温かいご支援とご協力をいただいておりますこと深く感謝申し上げます。

さて、3月8日に学校関係者評価委員会（学校評議員4名）を開催いたしました。そこで皆様にお世話になった保護者アンケートや児童生徒アンケートをもとに、学校職員全員で行った学校自己評価についてご審議いただきました。その結果をお知らせします。このご審議いただいた内容については来年度の学校の取組に活かしてまいります。アンケート等にご協力いただきありがとうございました。

記

1 自己評価と学校関係者評価の結果

（A：十分達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：不十分）

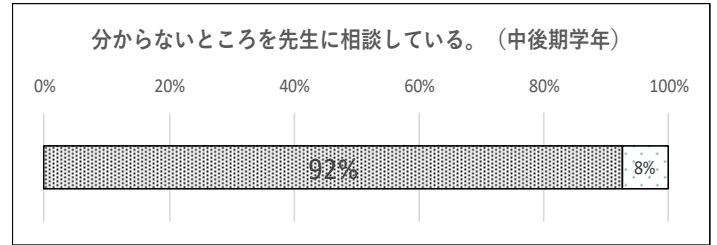
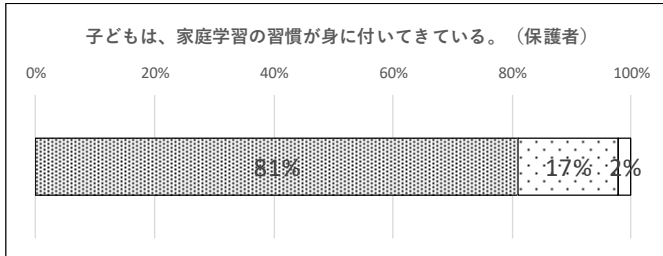
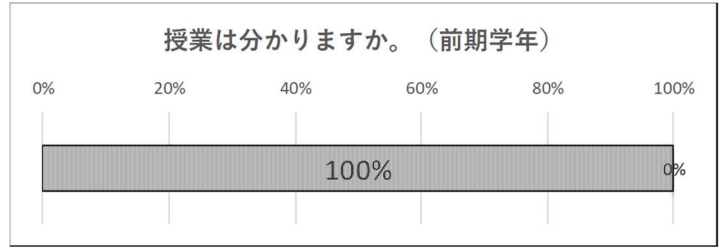
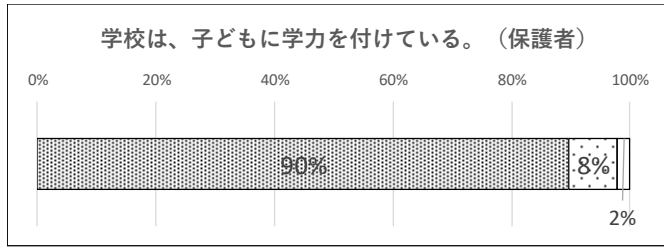
	学校評価の項目	学校自己評価	学校関係者評価
1	基礎的基本的な学習内容を確実に定着させている	B	B
2	ことばの力を育み、思考力・判断力・表現力を育成している	B	B
3	福祉活動・ボランティア活動を通して、豊かな心を育てている	B	B
4	いじめや差別のない環境を作り、安心な学校を作っている	B	B
5	児童生徒会活動などを通して、子どもの主体性を育てている	B	B
6	様々な運動の取組を通して、子どもに体力を付けている	B	B
7	登下校指導、防災教育等を通して、安全教育を推進している	A	A
8	小中一貫教育校として自校の教育や取組・子どもの様子などを、多様な方法で知らせている	A	A
9	全教職員で全児童生徒を指導している	B	B
10	ふるさとを愛し、ふるさとの未来を大切に思う子ども達を育成している	A	A

2 学校自己評価について

保護者アンケート、児童生徒アンケート等を参考に、職員で教育反省を行い、学校自己評価をしました。各項目については裏面のとおりです。

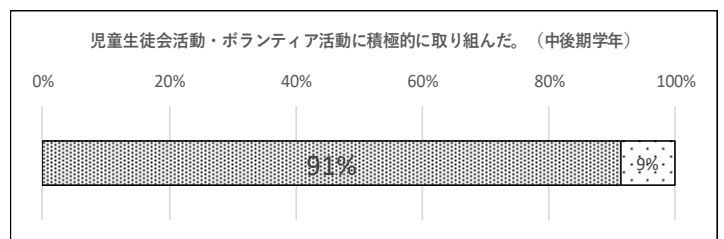
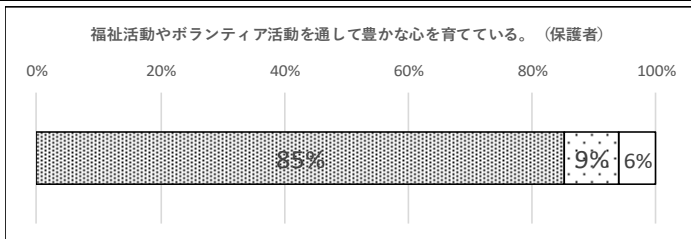
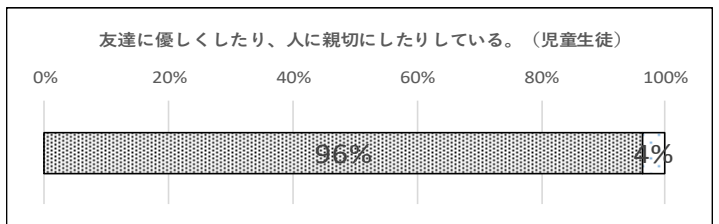
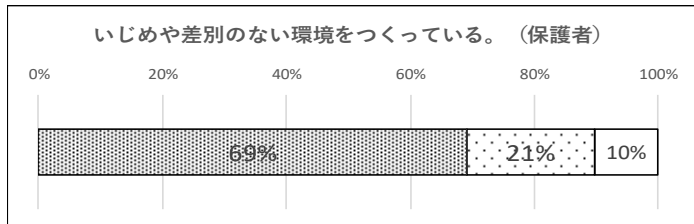
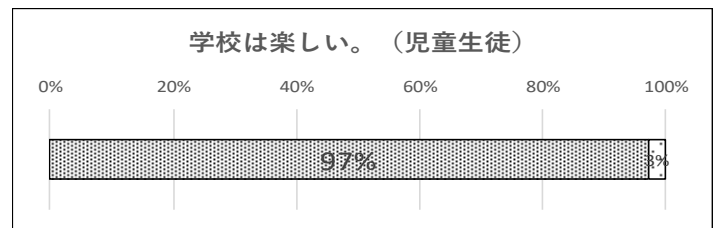
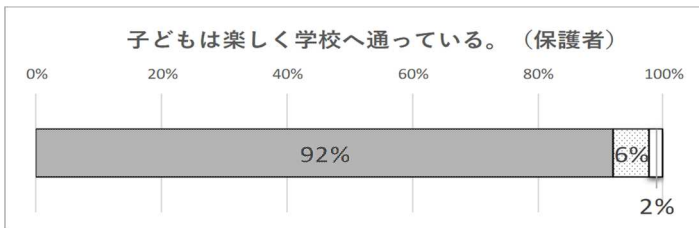
※グラフの凡例（  肯定的回答  否定的回答  わからない）

項目1と項目2について



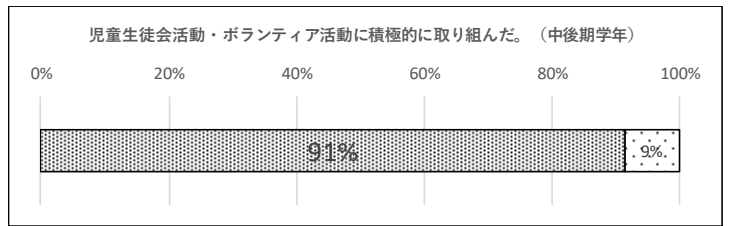
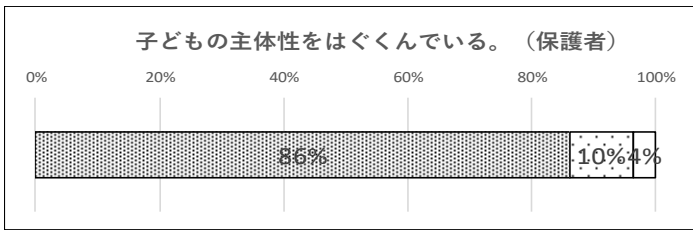
保護者アンケートの「学校は、子どもに学力を付けている」という質問に対して90%の肯定回答を得ていることや児童生徒アンケートの結果から授業中しっかり学習に取り組んでいる様子がうかがえます。また各種学力テストの結果から、国語科と英語科については、全国平均や府平均を上回る数値となっており、「ことばの力」を高めるための取組や英会話コミュニケーション科等の英語教育の成果が表れてきたと感じています。しかしながら算数科・数学科においては課題があり、思考力・判断力の育成にさらに力を入れていく必要があります。解き方を自分の言葉で説明したりするなど筋道を立てて考える学習を積極的に取り入れ、「考える力」を高めていきます。また学習に対して困り感を持っている子どもたちに対しては、これまで通り個別の指導を丁寧に行い、一人一人の児童生徒に力を付けていきたいと思えます。

項目3と項目4について



「子どもは楽しく学校へ通っている」「学校は楽しい」という質問に対して肯定的回答を90%以上得ることができました。しかし少数の子どもが学習への困り感や負担感を理由に「楽しくない」と感じています。学習指導や教育相談を更に丁寧に行っていきます。いじめや差別のない環境をつくるため、今年度も日常的な教員の観察、毎月の絆アンケートや学期1回のいじめアンケートを実施し、児童生徒の困り感を早期発見、対応してきました。しかしながら、保護者の肯定的回答は69%と低く、児童生徒の実態についてより深く認知していくことが大切だと考えています。アンケートの記載だけでなく日常の子どもたちの人間関係をきめ細やかに指導していくとともに、道徳教育や人権教育の充実を図り、あらゆる教育活動を通して好ましい人間関係づくりに努めていきます。

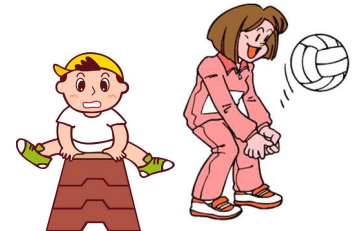
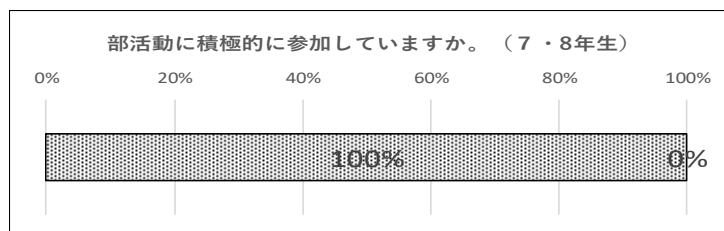
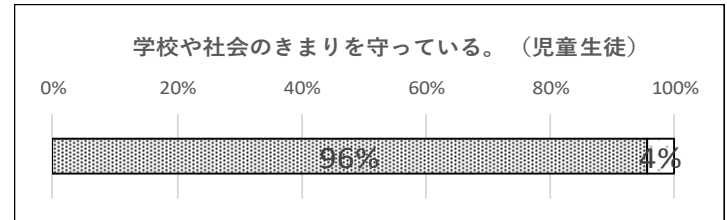
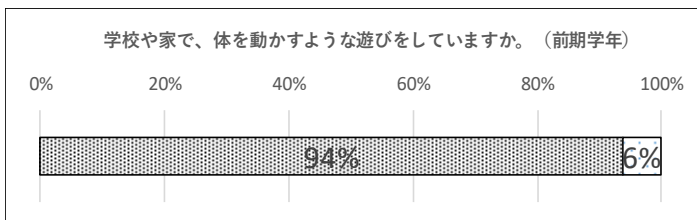
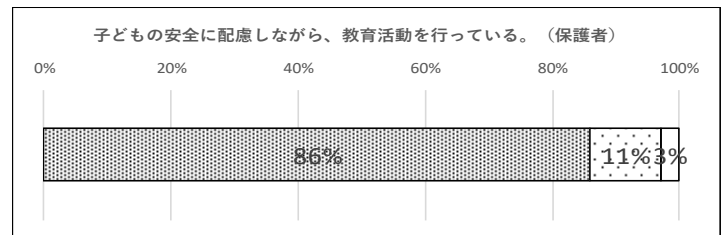
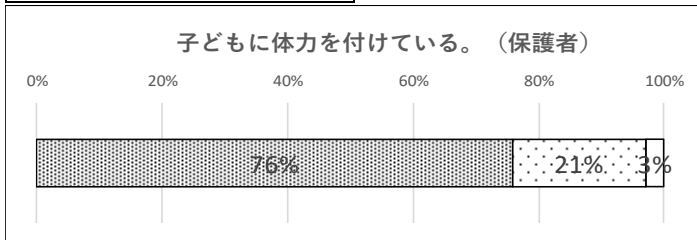
項目5について



子どもたちは児童生徒会活動や文化祭、体育祭等の行事に主体的に取り組み、達成感を感じています。しかし、さらに子どもたちがすべての教育活動に主体的に取り組むよう課題意識を高める指導を一層工夫することが必要であると考えています。また、子どもたちの様子を見て「ボランティア活動＝(イコール)アルミ缶回収」ととらえている面もあるように思われます。児童生徒会活動や全教育活動を通して、相手を大切に行動やみんなのためになる行動を自ら進んで取り組めるよう、適切な場面で励ましながら指導していきます。



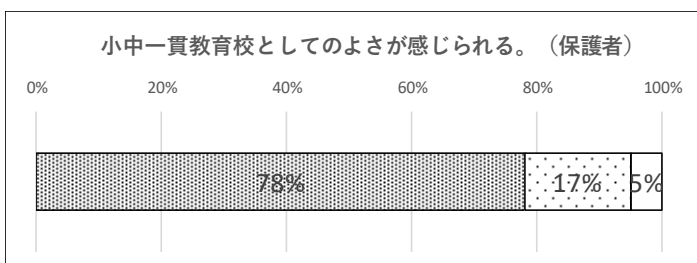
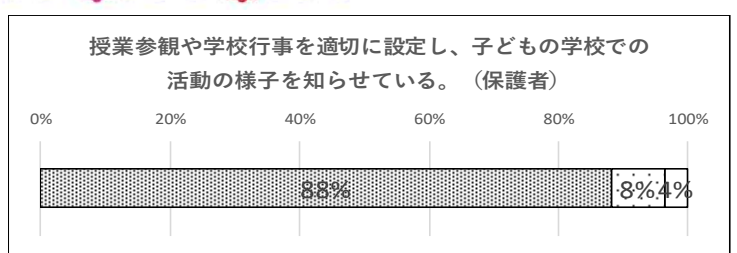
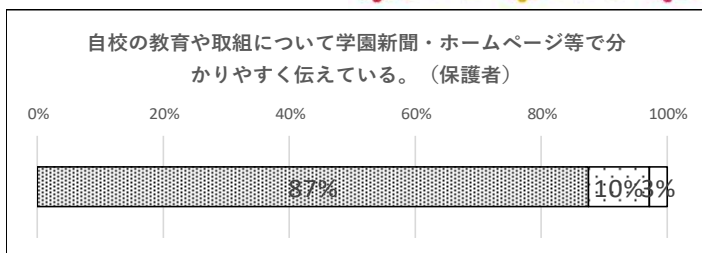
項目6と項目7について



1学期実施の体力テストの検証で明らかになった「握力」「投力」「持久力」の課題克服に向けた取組を続けてきました。また、休み時間・放課後の外遊びや体育委員会が取り組む「夜久野アスレチック」等を通して少しずつ体力は向上している傾向が見られます。今後は体力の向上を組織的に取り組んでいくことを大切にしていきます。

安全教育については、避難訓練をはじめとする防災教育や交通事故・犯罪等から身を守るための教室を実施してきました。また、今年度は家庭の協力を得ながら、児童生徒の健康管理への意識を高めたことから風邪・インフルエンザ等が流行することなく学級閉鎖もありませんでした。地域の皆様、保護者の皆様には、毎日の登下校の見守りや健康管理を大変お世話になりました。子どもたちが事故なく登下校できたことに感謝申し上げます。

項目8について

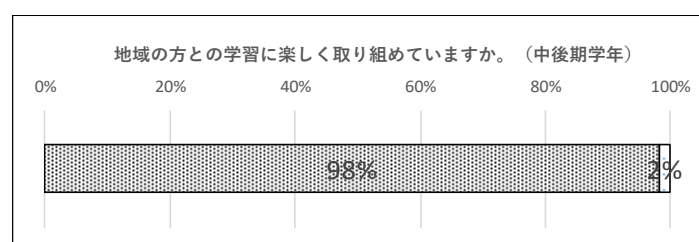
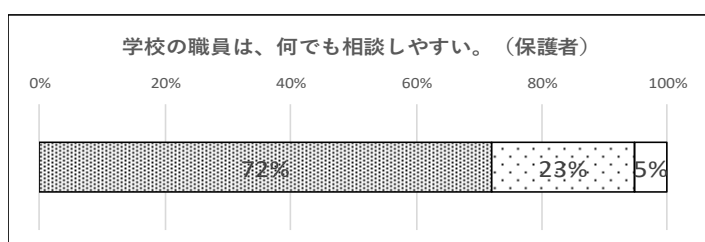
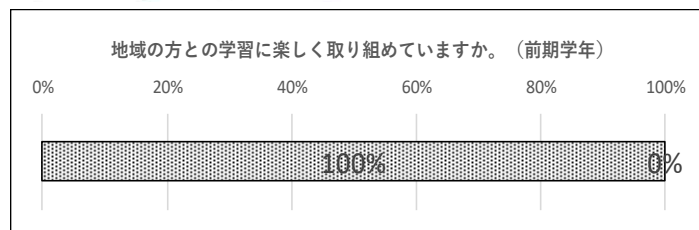
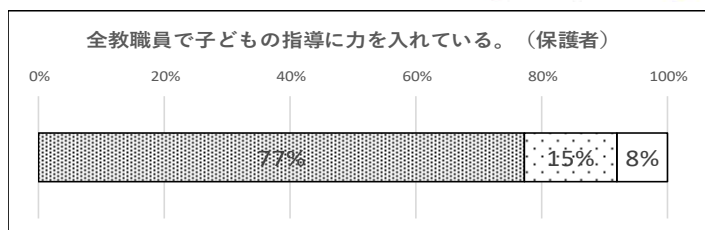


「小中一貫教育校のよさは何だと思えますか。」
【児童生徒アンケートより】

- ・中学生がリードしてくれ優しくしてくれるからうれしい。
- ・中学生の雰囲気が学べて進学しやすい。
- ・小学生とたくさん交流して、伝え方とかも学べる。
- ・よりたくさんの人をリードすることでリーダーシップが養える。
- ・小学生と中学生の仲がよいところ。

保護者アンケートの「様々な教育活動において小中一貫教育校としてのよさが感じられる。」という質問に対して肯定的回答が創立以来、初めて70%を超えました。まだまだ高い数値とは言えませんが、少しずつ小中一貫教育のよさが広がりつつあると感じています。児童生徒のアンケートからも全校をリードしてくれる中学生の姿にあこがれや信頼を高めていることや小学生と共に学んだり交流したりすることで様々なことを学べると感じていることなどから、小中一貫教育校のよさを感じている子どもたちが多いよう思います。また教職員も小中一貫教育校のよさを意識しており、さらにリーダーシップとフォロワーシップを適切に指導していきたいと考えています。今後も学園新聞やホームページ、学級通信等でいきいきと活動する子どもたちの姿を発信していきます。

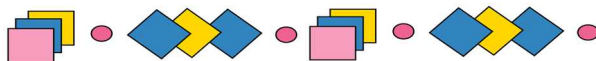
項目9と項目10について



「全教職員による指導」については77%、「相談しやすい教職員」については72%と肯定的回答が低い数値となっています。全教職員が一人一人の子どもの変化を捉え、全児童生徒と一緒に見守り、育てていくことについて、さらに意識を高め徹底していきます。また、保護者や地域住民の皆様から何でも相談しやすい体制づくりや雰囲気づくりも大切にしていきたいと思ひます。

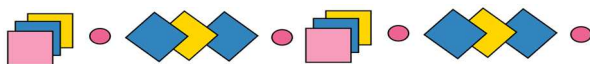
児童生徒アンケートの「地域の方との学習に楽しく取り組んでいますか。」という質問に対して、肯定的回答が大変高い数値になっています。子どもたちは地域の方との学習や地域のよさを感じる学習に楽しんで取り組んでいることが分かります。今後も地域連携教育に力を入れ、ふるさと夜久野に愛着を持てる児童生徒の育成に努めていきます。

3 アンケート記述回答より



挨拶について、集合場所や地域の中で挨拶ができていないことを保護者や地域の皆様からご指摘を受けることがありました。挨拶の大切さを指導すると共に「大きな声で」「子ども同士で」「地域の方へ」しっかりと挨拶ができるよう指導を続けていきます。ご家庭や地域においても声かけをよろしくお願いしします。

「全教職員で全児童生徒を指導しているか。」という質問に対して、「何をもって判断したらいいのか分かりにくい。」というご意見をいただきました。アンケートの質問項目や問い方を検討し、更に分かりやすく整理していきたいと考えています。



4 学校評価を受けて

学校関係者評価委員会では、1年生～9年生、あおぞら学級の授業を参観していただき、すべての児童生徒が落ち着いて学習に取り組んでいる様子を見ていただきました。

学園からは、小中一貫教育校のパイロット校として取り組んできた教育活動や「伝え合う力」の育成に力を入れてきた成果を研究発表会で発信できたこと、昨年末に取り組んだ国際交流で発揮してくれた児童生徒の英会話コミュニケーション力、部活動の再編成の経過と結論について説明させていただきました。

また、評価委員の方から7年生が総合的な学習の時間に取り組んでいる「A to Z」は大変よい取組であり、さらに身近にある夜久野の魅力を感じていけるようにしてほしいというご意見もいただきました。

学校評価委員会のアンケート結果が昨年度より全体的に向上していることから、一年一年小中一貫教育校夜久野学園の教育活動が充実してきたことも確認することができました。

最後に学校や家庭における人権教育や不登校、読書指導等について一層力を入れていくようご示唆もいただきました。学校評価を受け、今後も全人格教育を目指して、学力向上、豊かな心の育成、体力の向上を図るよう教職員全員で指導していきます。保護者の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いしします。